

病害虫発生予察注意報第 2 号

佐賀県

タマネギべと病については、病害虫対策資料第 12 号（令和 5 年 3 月 3 日付け）を発表し、注意喚起を行ってきたところですが、3 月 20～22 日の調査で、二次感染株（写真 1）が広域に発生していることを確認しました。3 月中旬以降、本病に感染しやすい気象条件が断続的に出現していることから、今後、さらに発病が増加する恐れがあります。

については、以下を参考に、防除対策を確実に実施してください。

作物名：タマネギ（早生・中晩生品種）

病害虫名：べと病



写真 1 二次感染株
(令和 5 年 3 月 20 日撮影)

1. 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) 現在の発生状況（令和 5 年 3 月 20～22 日調査）

(1) マルチ栽培 8 圃場（早生品種主体）の定期調査では、べと病の平均発生株率は 3.5%で、平年よりやや多かった（表 1）。

(2) 露地栽培 10 圃場（中晩生品種主体）の定期調査では、べと病の平均発生株率は 1.0%と平年並であった（表 1）。

表 1 定期調査におけるタマネギべと病の平均発生株率(%)

	マルチ栽培圃場				露地栽培圃場			
	3月上旬	3月下旬	4月上旬	4月下旬	3月上旬	3月下旬	4月上旬	4月下旬
本年(令和5年)	0.19	3.5			0.04	1.0		
平年	0.25	1.8	21.6	21.5	0.28	0.9	15.4	21.1

2) 今後の発生予想

(1) 感染・準感染好適気象条件が 3 月 9～11 日、17～18 日および 21～22 日頃にも出現したことから、約 2 週間の潜伏期間を経て、今後、さらに発病が増加する恐れがある。

(2) 福岡管区气象台が 3 月 16 日に発表した九州北部地方の 1 か月予報では、降水量は多いと予想されている。このため、曇雨天等の感染に好適な条件が出現し、さらなる感染が助長されると予想される。

3. 防除上注意すべき事項

一次感染株に形成された分生孢子によって、タマネギが二次感染する。現在、二次感染のリスクが高まっていることから「一次感染株の抜き取り」と「薬剤防除による二次感染の予防」の両方の対策を徹底する。

(1) 一次感染株の抜き取り

各地域で一次感染株の発生が増加していることから、圃場の見回りをこまめに行い、発生を認めた場合には直ちに抜き取る。抜き取った株は圃場に放置せず適切に処分する。

(2) 薬剤防除による二次感染の予防

最新の気象予報や各地域の防除暦に基づいて、薬剤による降雨前の予防散布を徹底する。防除対策の詳細については、令和5年3月3日付け病害虫対策資料第12号および佐賀県病害虫防除のてびき〈麦類・野菜・花き・飼料作物〉も参照する（p265～268）。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

防除のてびき掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321928/index.html>

防除セ QRコード^{*} てびき QRコード^{*}

